

2018年6月12日

2019年秋に開始予定

岩手県で「太陽光発電事業」を開始します

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、社長：紅村 康）では、当社所有である2カ所の土地（いずれも岩手県宮古市）において、2019年秋に太陽光発電事業を開始します。

これは、「再生可能エネルギー固定価格買取制度」を利用し、環境にやさしい電気を生み出す太陽光発電所として保有資産を有効活用する事業であり、再生可能エネルギー導入を推進する地元宮古市の政策にも沿う取り組みです。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 所在地

	土地 ①	土地 ②
場所	岩手県宮古市 ^{おもえ} 重茂第25-14-6ほか	岩手県宮古市 ^{おもえ} 重茂第29-243ほか
発電所の面積	47,088㎡	17,373㎡

2. 太陽光発電システムの概要（2カ所合計）

- (1) 設置パネル数：11,488枚
- (2) 発電能力：2,872kW
- (3) 年間発電量：一般家庭の使用量 約900世帯分に当たる300万kW時

【参考】

これまでの太陽光発電事業の取り組みについて

- (1) 開始日 2015年2月16日
- (2) 所在地 神奈川県相模原市緑区の社有地
- (3) 面積 4,938㎡
- (4) 設置パネル数 1,021枚
- (5) 発電能力 302.21kW
- (6) 年間発電量 一般家庭の使用量 約90世帯分に当たる31万7,000kW時



＜神奈川県相模原市の太陽光発電システム＞

以上